

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

西洋野菜で地域復興！

— 農園・黄金の風 —
ためぐち あつひろ
溜口 功啓さん

みなさんは、西洋野菜と聞いて何を思い浮かべますか？

今回は、大田原市で西洋野菜を栽培する溜口功啓さんにお話を伺いました。溜口さんは3年前に新規就農をし、現在はおよそ50種類の西洋野菜を栽培しています。大田原市内のレストランや近隣の結婚式場などにも卸しているそうです。



ヤングコーン収穫後の溜口さん

新規就農の決意と出会い

実家がアスパラ農家で農業は身近な存在だったそうです。溜口さんー「父の苦労している姿を見てきたため、継ぐ気はありませんでした。しかし、大学で心理学を勉強するなかで、日本人の心は土と深い関係があることを知り、農業をやってみようと就農を決意しました。何を育てるか考えていた時に、人伝えで、西洋野菜の扱い手を探しているという話を聞いて、興味を持ちました。すごくきれいでおいしい西洋野菜に魅了され、そこから西洋野菜を作り始めました。」

0からのスタート

お父様の方針で、簡単に継がせると後々苦労するから、若いうちに苦労をしておけと言われたそうです。

溜口さんー「父の方針もあったので、土地や機材もない0からのスタートでした。自分から地元の方に声をかけて土地を貸してもらいました。ほとんどが耕作放棄地だったため、畑にするところからのスタートで、中には3年かかった土地もありました。」



ハウスの骨組み調達から組み立てまで
溜口さんが行いました

師匠との出会い

師匠との出会いが西洋野菜との出会いに繋がり、溜口さんが師匠から学んだことや教えを大切にしているのが伝わってきました。

溜口さんー「厳しくもあり優しい人でした。師匠の教えは自分で考えて勉強すること。去年亡くなってしまったんですが、師匠の奥様が使っていた種をくれたりして、後から気づいたことも多くあり、とても心強く感じています。」

大切にしている『思い』と『こだわり』

溜口さんー「一番に礼儀を大切にしています。土地を借りている身でもあるし、畑もおざなりにせず綺麗にしておくことが大切で、野菜たちにも礼儀を持って接しています。こだわりは肥料ですね。大豆由来のヒューマスを使っています。土と混ぜると発酵して肥料効果が高まって、いい土ができるんです。あとは、野菜によって肥料を変えています。例えば、魚介系の肥料を使うとトマトのような野菜はコクが出ていい味になるんですよ。」



培養土はご自身でブレンドしています



色鮮やかなパプリカ

西洋野菜で地元を盛り上げたい

今後の目標をお聞きしました。

溜口さんー「現在は、西洋野菜を専門に作っている人が大田原に全然いないので、今後は、西洋野菜をつくるグループを作って、大田原市内のレストランを中心により多く出荷できるようにしたいです。少しでも西洋野菜に興味を持ってもらえたなら嬉しいですし、大田原でつくる西洋野菜で大田原を盛り上げていきたいですね。」



取材した方に聞きました
「あなたの好きな大田原」

大田原から見える山並み

溜口さんのオススメは、大田原から見える山並みです。畠仕事をしているときに見える山々が好きだそうです。



大田原通信
presents

はじめて
中国・台湾茶を楽しむ



2023
11/9
木曜日

時 間 ① 10:00~11:30
② 13:30~15:00
各定員 5名

参 加 費 1700円 (お茶4種・お菓子つき)

申込方法 二次元コードから、または
移住・定住交流サロンに電話



場 所 茶館メイクイ 大田原市末広2-10-5

溜口さんの作る

西 洋 野 菜

菜



白長ナス 花ズッキーニ

カステルフランコ

農園-黄金の風

・西洋野菜
(およそ50種類)
・アスパラガス

FARM - GOLDEN WIND

〒324-0411 大田原市蛭畠1308

TEL : 090-5333-4262

※詳細はお問い合わせください。

お問合せ

大田原市の移住相談窓口 大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課